

2014 年 7 月 2 日
株式会社みずほ銀行

中国安徽省 合肥経済技術開発区および合肥高新技术産業開発区 との業務協力協定の締結について

みずほ銀行（頭取：林 信秀）およびみずほ銀行（中国）有限公司（以下、みずほ中国）は、本日、中国安徽省の合肥経済技術開発区および合肥高新技术産業開発区）との間で業務協力協定を締結しました。

合肥市は、長江デルタ地域の西部に位置する安徽省の省都であり、上海や江蘇省などの一大消費地へのアクセスと、コスト面に優れた生産基地として、沿海部から内陸への産業移転を引き受ける重要な役割を担っています。合肥経済技術開発区と合肥高新技术産業開発区は同市内にある国家級の開発区で、積極的な外資誘致や進出企業へのサポートを行っています。

本協定は、当該地域への産業誘致のアドバイス、投資説明会開催などへの協力を進め、日系企業の進出支援等を通じ、同地域の経済発展への相互協力を図ることを目的とするものです。

みずほ中国は、邦銀として唯一、安徽省に支店（合肥支店を 2013 年 8 月に開業）を開設しています。〈みずほ〉は、中国国内 18 カ所のネットワークを活かし、同地域へ進出しているお客さまへの各種アドバイスや、進出を検討しているお客さまへの投資環境案内や進出時の各種サポートを一層強化していきます。

（参考）合肥市概況（数値は 2013 年）

概要	安徽省の省都であり、中国中部地区の中では東部沿岸地域に最も近くに位置。 （面積：11,400km ² 、人口：761 万人）
主要な産業	家電、建設・輸送機械、自動車、日用品・食品など
GDP	4,673億元（2012年比11.5%増）

以上